

作業事例集 一紙に印刷された図案を切断加工する (Adobe Illustrator 編)

- ・ 本資料は、レーザー加工機が正常にセットアップされていることが前提になります。
- ・ 本資料は、RSD-SUNMAX シリーズ用制御ソフト LaserWorkV6 (以下 LaserWork と記す) が正常にインストールされていることを前提にしています。
- ・ 本資料は、Adobe Illustrator CS6 を使用しています。
- ・ 本資料は、データ出力までの工程のみを記載しております。[実際の加工を参照されたい方は、初めての加工をご覧ください](#)

① はじめに

紙に印刷されたロゴや図面などのデザインデータを切断加工する場合の事例です。

[彫刻を行う場合は](#)、スキャナで紙面内容を取り込んだあと、モノクロビットマップ化し、LaserWork でインポートすれば加工可能です (スキャナの精度により、細部の修正が必要となる場合があります)。

[切断を行う場合は](#)、スキャナで取り込んだ画像データを使用して、Adobe Illustrator を使ってパスデータを作成します。

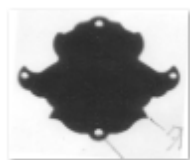
② データ作成

2.1 スキャナでデータ取り込む

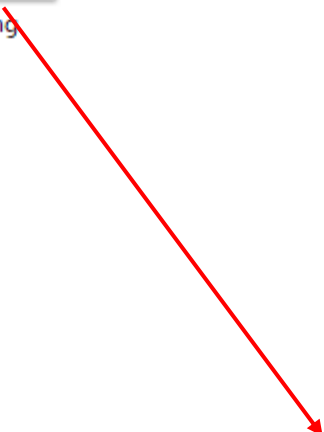
紙の図案をスキャナで取り込んでください。スキャナでの読み込みにつきましては、内容によって、ご使用の機種の設定に従ってください。一般的には 300dpi 以上の解像度で読み込みます。

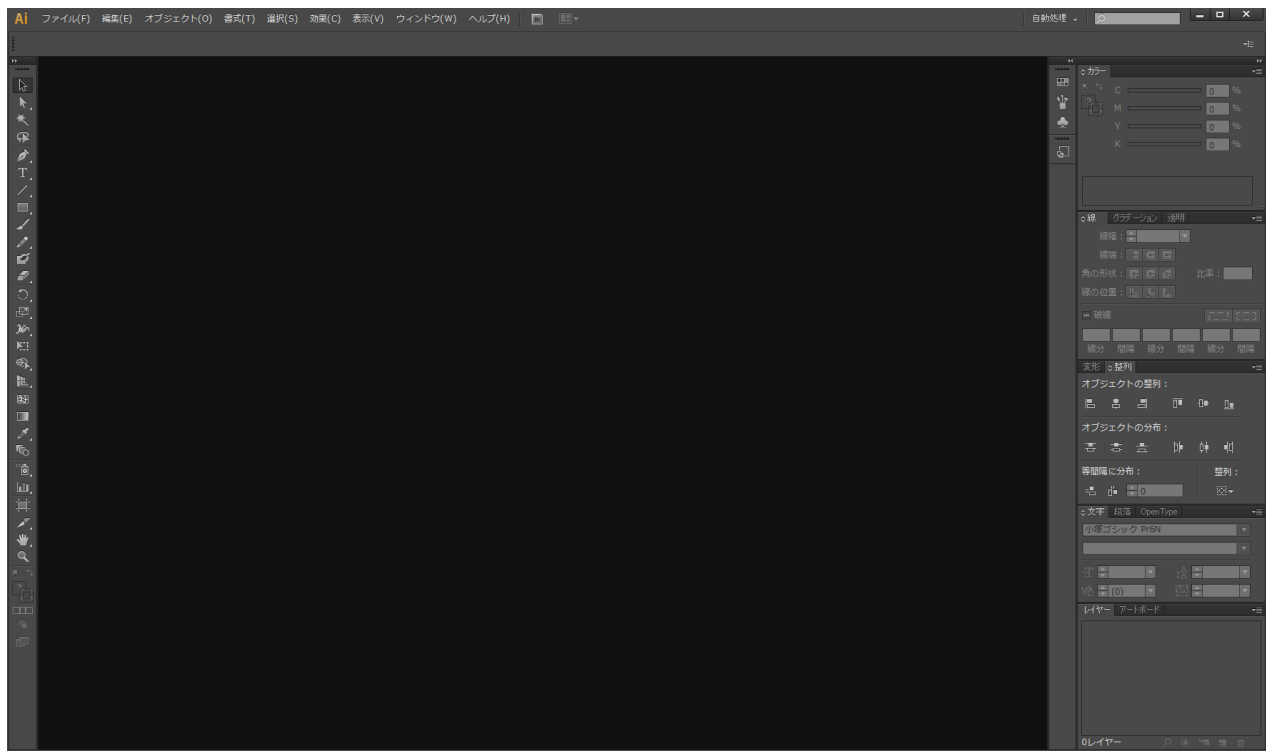
2.2 Adobe Illustrator でデータを読み込む

スキャナで取り込んだ画像データを Adobe Illustrator に読み込ませます。Illustrator のドキュメントがない部分にドラッグ・アンド・ドロップすれば、新規ドキュメントが作成され、画像データが表示されます。

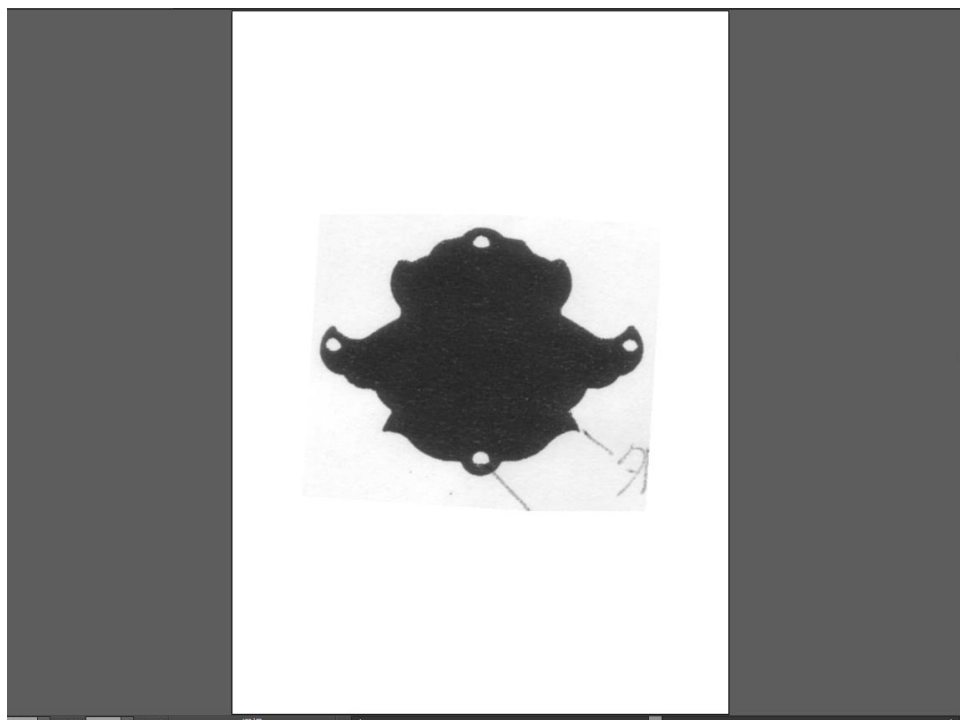


データ.png





データが表示されました。

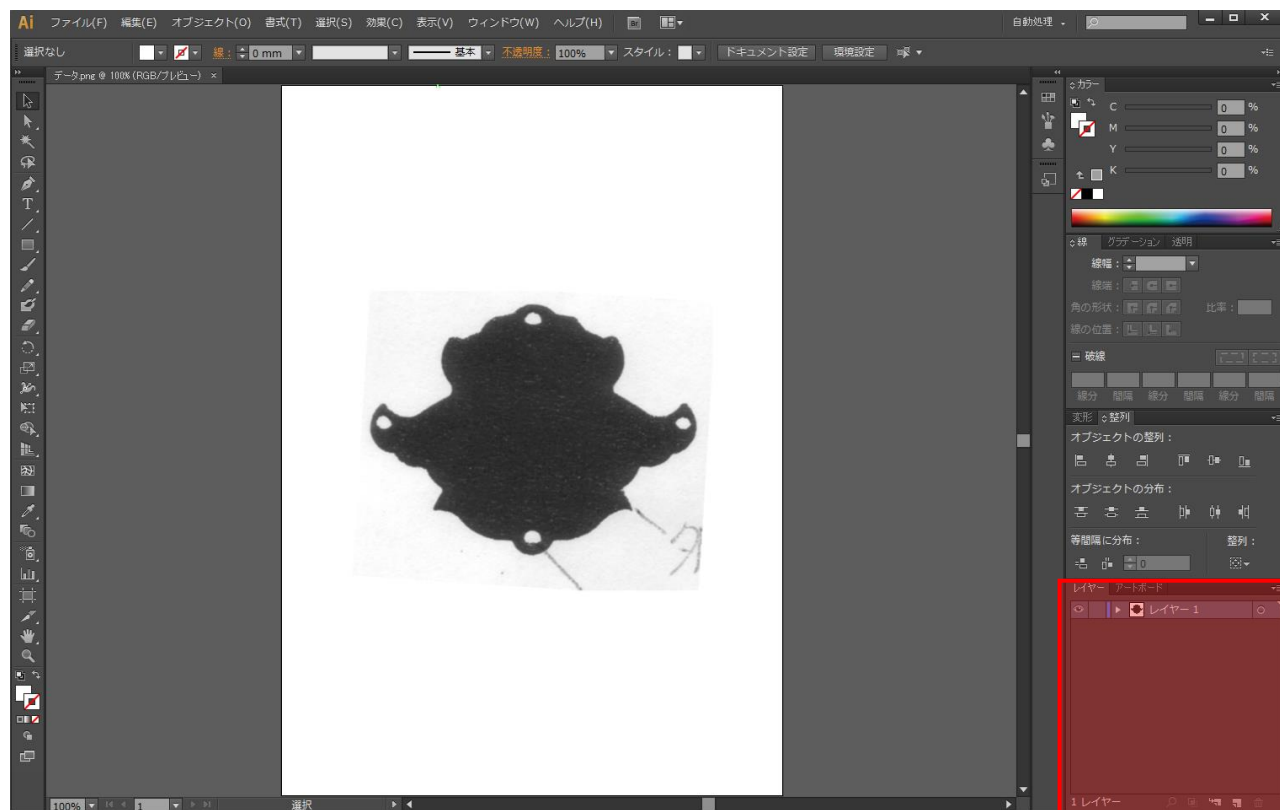


2.3 レイヤーを作成

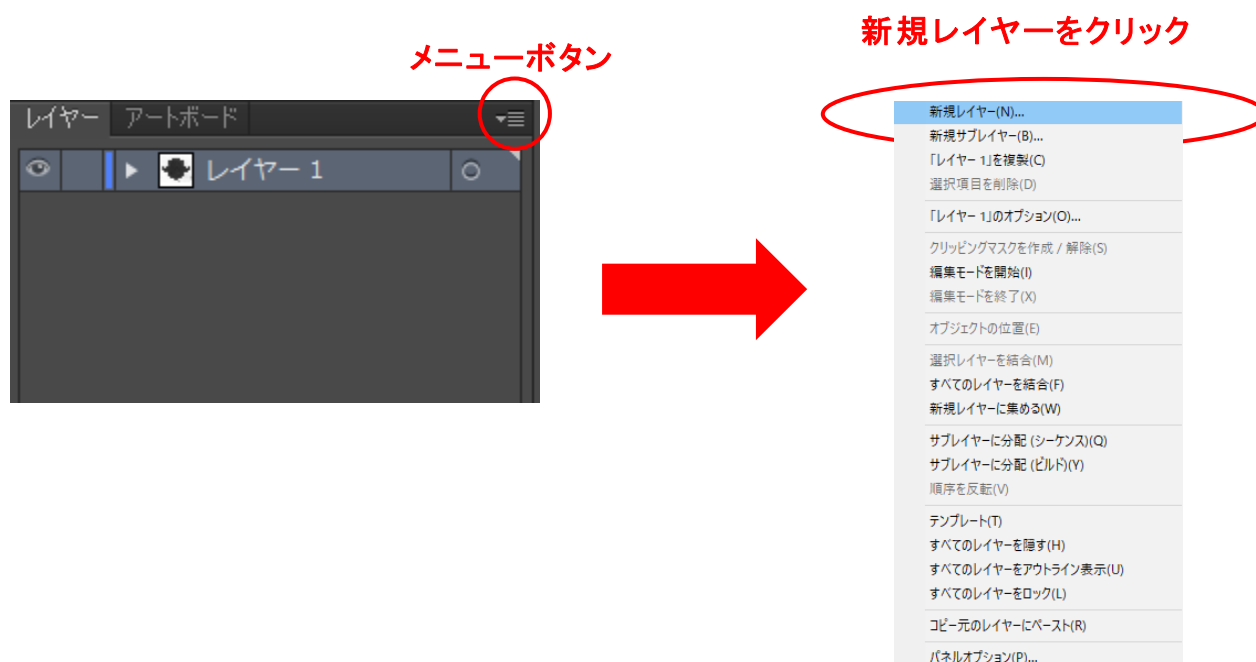
パスデータを作成する方法はいろいろとありますが、ここではもっとも初心者向けの方法で行います。

- ① パスデータ用のレイヤーを作成します。レイヤーはレイヤーペインで作成します。(レイヤーペインが表示されていない場合は、メニューの「ウィンドウーレイヤー」をクリックして、表示させてください)

※ レイヤーペインが表示される場所は、下図と異なる場合があります。

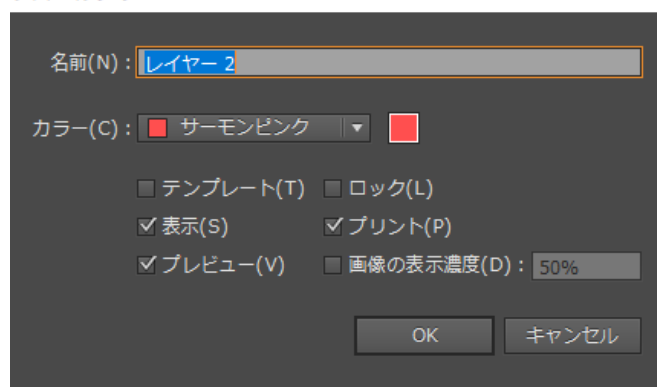


- ② レイヤーペインにあるメニューボタンをクリックすると、メニューが表示されます。「新規レイヤー」をクリックしてください。

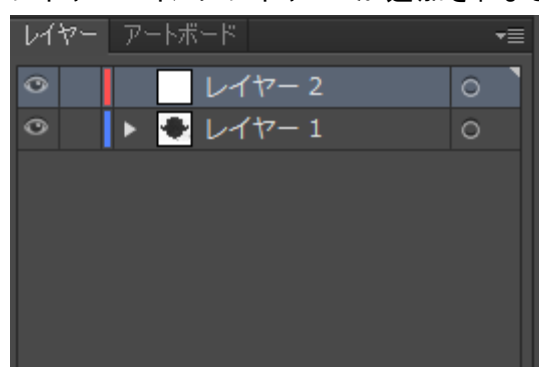


- ③ 「レイヤーオプション」ダイアログが表示されるので、特に変更することなく、デフォルト表示のまま「OK」ボタンをクリックしてください。

レイヤーオプション



レイヤーペインにレイヤー2が追加されました。



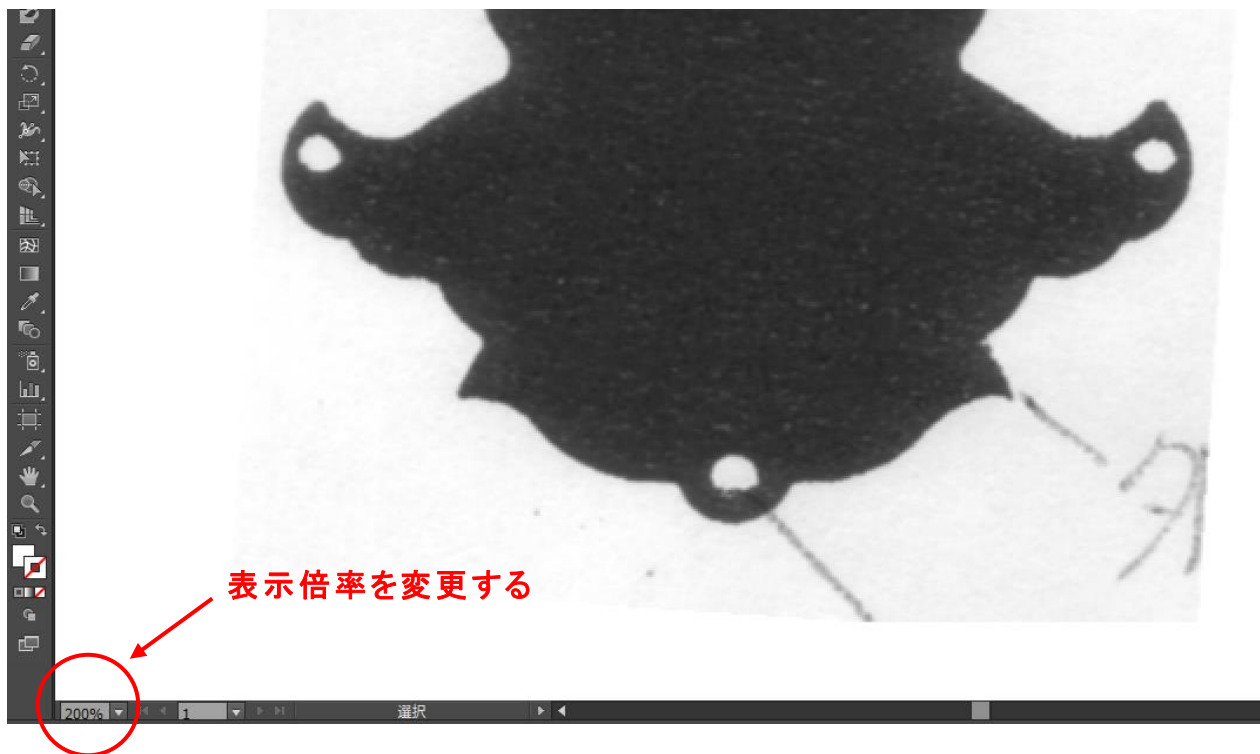
2.4 ペンツールで輪郭をトレースする

Illustrator のバージョンによって、「ライブトレース」、「画像のトレース」など、画像を自動的にトレースする機能が搭載されています。

データ内容や要求加工品質によっては、そちらを使用したほうが素早くトレースができますので、使用できる場合は使用してください。

本紙では、ペンツールを使用して手動でトレースします。

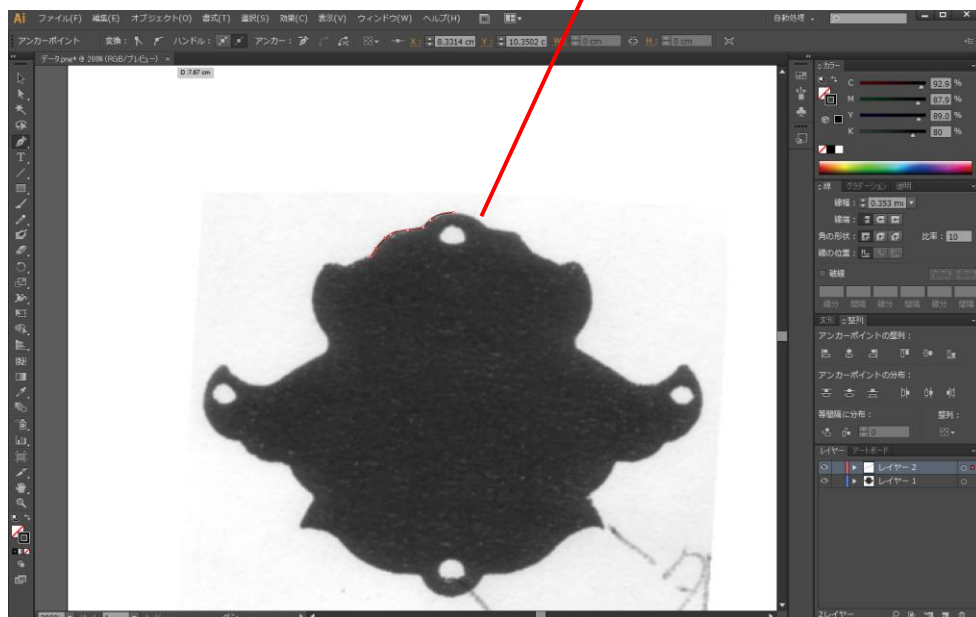
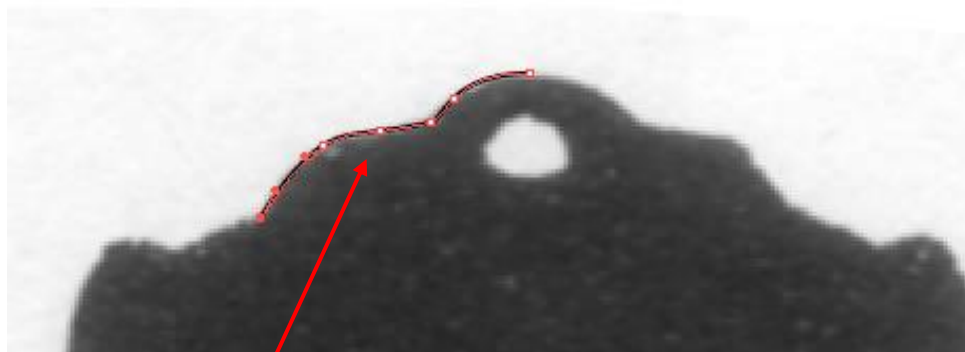
① まず、表示倍率を見やすいサイズにします。倍率を大きめにするとトレースがしやすいです。



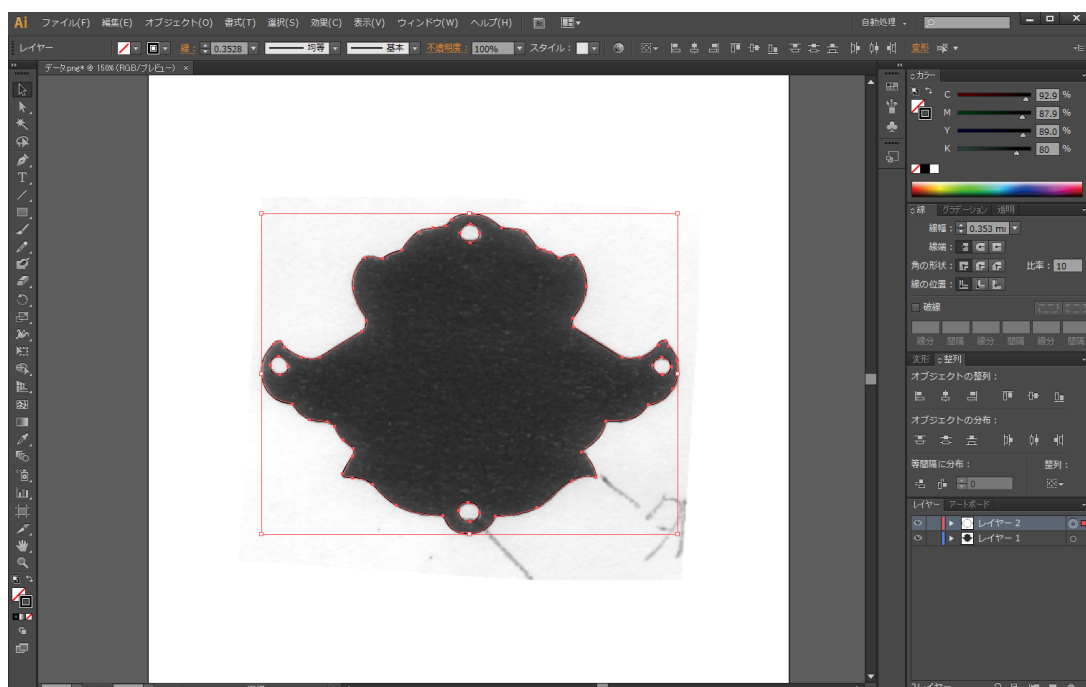
② ツールペインの「ペンツール」をクリックし選択します。



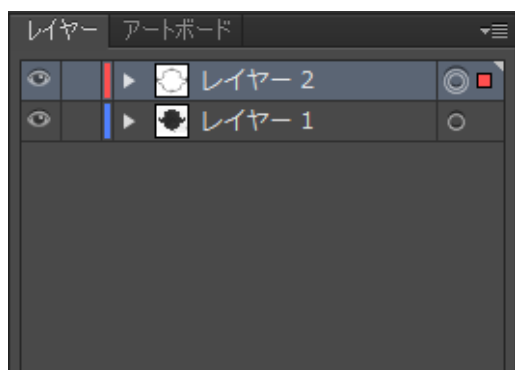
③ マウスカursorがペンの形に変化するので、輪郭をなぞってクリックしています。



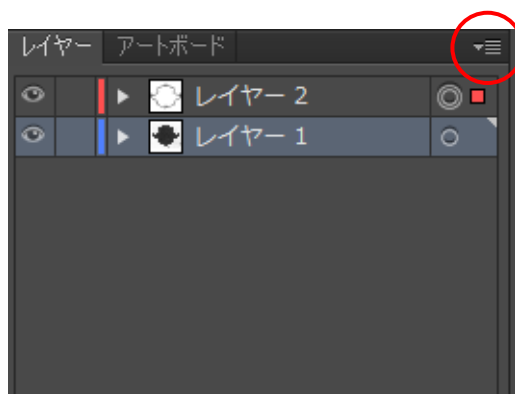
④ 輪郭のペンの始点と終点が合うと、そこでトレースが終了し、次の場所のトレースが可能になります。
全ての輪郭をトレースします。



⑤ 全ての輪郭のトレースが終わったら、レイヤーペインのレイヤー1を削除します。



レイヤー1をクリックして選択状態にする

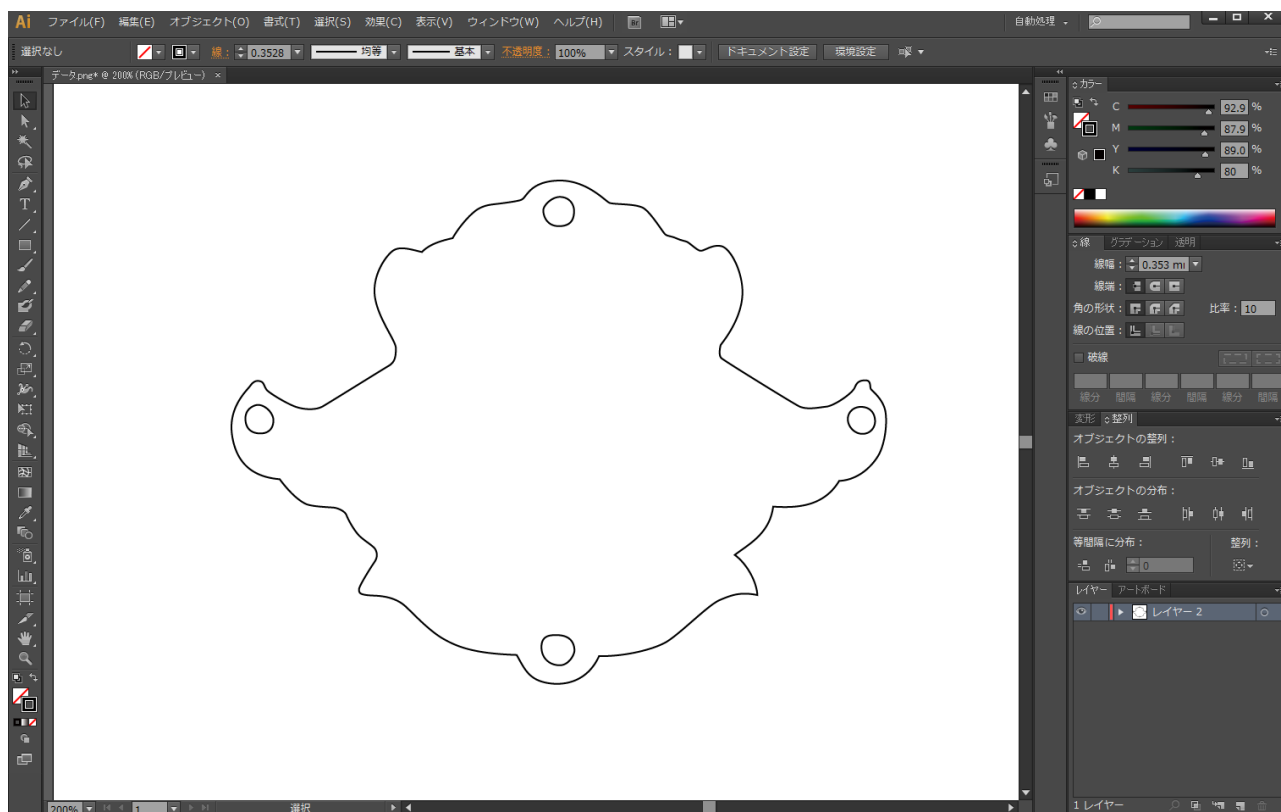


メニューボタンをクリックする



メニューから「レイヤーを消去」をクリックする

これでトレースは終了です。



③ データを出力する

*.ai 形式で保存を行います。